

授業概要

本講義では、人と社会の関わりにおけるさまざまな現象について、心理学的な視点からどのようなことが明らかにされているのかを講義する。対人関係、集団と個人、コミュニケーションに関する社会心理学の理論や知見について解説するとともに、実験や調査を模擬的に体験する活動を通じて、どのような方法でこれらが検討されてきたのかについても理解することを目指す。また、日常生活における現象や体験と結び付けながら体験的な理解ができるようになることを目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	社会心理学の概要（社会心理学Ⅰの概説）
第 3 回	対人関係（1）対人魅力
第 4 回	対人関係（2）対人関係の原理
第 5 回	対人関係（3）愛情と葛藤
第 6 回	対人関係（4）援助の関係
第 7 回	集団の中の個人（1）「行動する」集団
第 8 回	集団の中の個人（2）「影響する」集団
第 9 回	集団の中の個人（3）「意識される」集団
第 10 回	集団間関係（1）集団間の心理過程（ステレオタイプなど）
第 11 回	集団間関係（2）集団所属意識（社会的アイデンティティ）
第 12 回	集団間関係（3）対立の解消
第 13 回	コミュニケーション（1）言語的コミュニケーション
第 14 回	コミュニケーション（2）非言語的コミュニケーション
第 15 回	ソーシャル・ネットワーク
第 16 回	筆記試験

到達目標

- （1）社会心理学の基礎的な知識や概念について自分の言葉で説明できる。
- （2）社会心理学と日常生活との関わりについて、具体的に意見を述べることができる。

履修上の注意

- （1）20分以上の遅刻は欠席扱い、遅刻3回で1回の欠席とする。
- （2）全ての授業でリアクションシートの提出を求め、翌週の授業開始時に講師がフィードバックする。
- （3）許可の無い限り、機器の如何にかかわらず授業内容の撮影・録音を禁ずる。
- （4）授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いの場を設ける。
- （5）「社会心理学Ⅰ」を履修していることが望ましいが、本授業単独でも履修しやすいよう授業の構成を工夫する。

予習・復習

- 予習：配布資料や教材に目を通し、疑問点や知りたい点を考えておくこと。
復習：分かった点や興味を持った点、よくわからない点についてまとめておくこと。
（疑問点については授業内でフィードバックを行う）

評価方法

成績評価の基準：リアクションシート（40%）、定期試験（60%）で評価する。定期試験は、穴埋め式・論述式で行う予定である。詳細は授業内で指示する。

テキスト

教科書は特に指定しない。毎回の授業でパワーポイント資料を用いる。必要に応じて参考資料を授業内で指示する。